

# ラトビア月報

【2021年8月】



2021年（令和3年）9月発行

在ラトビア日本国大使館

<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

## 主な内容

### 【政治】

- ・ 政府はベラルーシとの国境に近接する地域に非常事態宣言を発出（P. 1）

### 【経済】

- ・ 政府はエア・バルティック社へ9000万ユーロの増資を決定（P. 2）

### 【外交】

- ・ ベラルーシ大統領選から1年に際してのラトビア外務省声明
- ・ レヴィッツ大統領のウクライナ訪問（P. 4）

### 【その他】

- ・ ラトビア選手が東京2020パラリンピック競技大会で5個のメダルを獲得
- ・ 作曲家ライモンズ・パウルス氏への旭日中綬章の伝達式（P. 8）

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料（原則として該当月の月末までの情報）を取りまとめたもので、在ラトビア日本国大使館の見解を述べたものではありません。月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

## — 政治 —

### 【今月の注目記事】

#### ◆政府はベラルーシとの国境に近接する地域に非常事態宣言を発出

8月10日、政府は、ベラルーシからの不法越境者の急増を受けて、8月11日から11月10日までの期間、ルーザ地区、クラスラヴァ地区、アウグシュダウガヴァ地区及びダウガウピルス市において非常事態宣言を発出することを決定した。この宣言に基づき、ラトビア国軍及び国家警察は、ラトビア・ベラルーシ国境の違法越境を防止するため、国境監視に関して国境警備隊を支援する。また、国境警備隊、ラトビア国軍及び国家警察は、不法越境者を発見した場合、同人を越境してきた国へ帰還させるため、物理的な力を使う権限が付与される。

非常事態宣言の発出された地域では、国境警備隊及び当局機関は、難民及びその他のステータスの申請を受理しない。また、同宣言により、ラトビア国軍は、国境警備隊及び市民権・移民局と協力し、すでに越境した人々のための収容施設、食料、基本的物資等の充足を確保する。

#### ◆7月の政党支持率

8月4日、ラトビアテレビは、民間調査会社「SKDS」が実施した支持政党に関する7月の世論調査結果を公表した。同調査の結果、支持率第1位は「調和」(11.3%)が維持した。「緑と農民連合」(7.7%)は、支持率を1.7%ポイント下げたものの前6月調査の第2位を維持し、カリンシュ首相が所属する「新・統一」(7.6%、前月調査では第4位)がそれに続いた。前月調査で第2位だった「ナショナル・アライアンス」(7.3%)は、支持率を2%ポイント下げ、第4位に後退した。

政党名 (%、括弧内は前回の国会選挙の得票率)	支持率 (%、括弧内は2021年6月の値)
「調和」(19.80)	11.3 (12.1)
「KPV LV」(14.25)	0.9 (0.6)
「新保守党」(13.59)	4.0 (3.7)
「発展・For!」(12.04)	5.6 (5.6)
「ナショナル・アライアンス」(11.01)	7.3 (9.3)
「緑と農民連合」(9.91)	7.7 (9.4)
「新・統一」(6.69)	7.6 (7.2)
「ラトビア地域連合」(4.14)	3.5 (2.7)
「ラトビアのロシア連合」(3.20)	3.5 (3.4)
「進歩党」(2.61)	3.0 (4.3)
「法と秩序」(※2021年1月立ち上げ)	3.4 (3.3)

(政党は上から2018年10月に実施された第13回国会選挙で獲得票数が多かった順)

## — 経済 —

### 【今月の注目記事】

#### ◆政府はエア・バルティック社へ9000万ユーロの増資を決定

8月17日、政府はエア・バルティック社に対し、新型コロナウイルスの影響による損失の補填及び経済危機克服のため、同社の株式資本を9000万ユーロ増資することを決定した。なお、本件実施には、今後、欧州委員会の承認が必要となる。

現時点で、同社の株式の96.14%をラトビア政府が保有している。2020年の同社の利用客数は前年比73%減となるなど、新型コロナウイルス流行は、同社の経営に大きな影響を与えている。

8月27日、エア・バルティック社は、2021年上半期の業績について発表した。これによると、同社の2021年上半期の売上は前年同期比40%減の5000万ユーロ、赤字は前年同期比の約3分の1に縮小し6152万ユーロとなった。また、2021年上半期の利用客数は前年同期比59%減の約30万人、就航便数は同51%減の約6,110便であった。

#### ◆2021年7月末の失業率は7.1%、2021年第2四半期の失業率は7.9%

8月9日、国家雇用庁は、2021年7月末の失業率は前年同月末比1.5%ポイント減の7.1%であったと発表した。地域別では、リガ地方が5.2%（1.7%ポイント減）で最低となり、ビゼメ地方が7.0%（1.2%ポイント減）、ゼムガレ地方が6.5%（1.5%ポイント減）、クルゼメ地方が7.2%（1.9%ポイント減）、ラトガレ地方が15.6%（0.5%ポイント減）で最大となった。また、同庁に登録された失業者は64,392人（13,606人減）となった（括弧内は2020年7月末比）（前年同月末比は全て当館算出）。

8月17日、中央統計局は2021年第2四半期の失業率は前期比0.2%ポイント増、前年同期比0.7%ポイント増の7.9%であったと発表した。若者（15歳～24歳）の失業率は前年同期比では1.5%ポイント減、前年比0.4%ポイント増の16.7%となった。長期失業者（12か月以上失業している人）が全失業者に占める割合は前期比2.5%ポイント減、前年同期比より0.1%ポイント減の26.8%となった。

#### ◆2021年7月の消費者物価上昇率は2.8%

8月9日、中央統計局は、2021年7月の消費者物価上昇率が対前年同月比2.8%（前月比では0.4%）だったと発表した。部門別では、運輸部門（7.8%）、特に、燃料費（17.8%）、住宅関連部門（4.1%）及び衣服・履物類（2.8%）などで物価の上昇が見られた一方で、教育関連（-0.3%）等は物価が下落した。

#### ◆2021年上半期の貿易額は前年同期比22.5%増

8月10日、中央統計局は2021年上半期の貿易額が前年同期比22.5%増の160億ユーロになったと発表した。輸出額は前年同期比20.3%増の73.5億ユーロ、輸入額は前年同期

比 24.5%増の 86.5 億ユーロとなった。主な輸出先はリトアニア（17.7%）、エストニア（11.4%）、ロシア（7.3%）、ドイツ（7.1%）及び英国（6.9%）、主な輸入元はリトアニア（16.7%）、ドイツ（11.2%）、ポーランド（9.9%）、エストニア（8.5%）及びロシア（8.0%）であった（括弧内は当館算出）。

#### ◆2021年第2四半期のラトビア宿泊施設利用者数は前年同期比 44.6%増

8月13日、中央統計局は2021年第2四半期のラトビア宿泊施設利用者数は前年同期比 44.6%増の約 24万7000人となったと発表した。このうち外国人は前年同期比 30.4%減の約 43,200人となった。出身国別では、多い順に、リトアニア（約 69,000人）、エストニア（約 45,000人）、ドイツ（約 3,900人）、ロシア（約 3,500人）、ポーランド（約 2,400人）であり、日本からの宿泊施設利用者数は 51名であった。

#### ◆格付機関 S&P グローバルはラトビアの格付を「A+」に据え置き

8月13日、格付機関 S&P グローバルはラトビアの格付を「A+」、見通しも「安定的」に据え置いた。主な要因として、新型コロナウイルスの流行の経済への影響が予想より小さく、公的債務を中程度に維持していること等を挙げている。S&P グローバルは、過去数ヶ月における景気回復の始まりや、早ければ 2021年に GDP が 2019年レベルに戻る可能性を指摘しつつ、政府の支援策及び EU 基金の活用が中期的に経済成長を促す見込みであると、来年にはラトビアの純債務が減少すると予想している。なお、今般の半年毎の見直しに伴う新たな分析結果等は発表されていない。

なお、Fitch Ratings によるラトビアの格付は「A-」で見通しは「安定的」。Moody's によるラトビアの格付けは「A3」で見通しは「安定的」。R&I によるラトビアの格付けは「A」で見通しは「安定的」。

#### ◆2021年第2四半期の平均月給は前年同期比 10.2%増の 1,237 ユーロ

8月30日、中央統計局は、2021年第2四半期の平均月給（グロス）は対前年同期比 10.2%増の 1,237 ユーロとなったと発表した。業種別では、金融・保険部門（2,258 ユーロ）や情報・通信部門（1,955 ユーロ）の月給額が特に高かった一方、宿泊・食品サービス部門（738 ユーロ）や芸術・娯楽部門（982 ユーロ）等は平均を下回った。なお、手取りの平均月給（ネット）は前年同期比で 10.4%増加し、914 ユーロとなった。

#### ◆2021年第2四半期の GDP 成長率は前期比 4.4%増

8月31日、中央統計局は、2021年第2四半期の名目 GDP は 81 億ユーロ、実質 GDP 成長率は前期比 4.4%増（季節調整値）、前年同期比 11.1%増（原数値）であったと発表した。前期比年率では 18.8%増（季節調整値）（注：当館試算）となった。

需要項目別（季節調整値）では、民間最終消費支出（対前期比 2.2%増）、一般政府最終消費支出（同 5.2%増）、総資本形成（同 22.8%増）、総固定資本形成（同 0.9%増）、財

貨・サービスの輸出（同0.2%増）及び財貨・サービスの輸入（同9.9%増）となった（注：需要項目別対前期比は季節調整済み実額より当館試算）。

## — 外交 —

### 【今月の注目記事】

#### ◆ベラルーシ大統領選から1年に際してのラトビア外務省声明

8月9日、ラトビア外務省は、2020年8月9日に行われたベラルーシ大統領選から1年に際し、声明を発表した。同声明では、この1年間、人権と基本的な民主主義的自由を要求するベラルーシ社会による平和的抗議活動が続いてきたとし、ルカシェンコ体制による行為を非難するとともに、ベラルーシの市民社会及び独立系メディアに対してラトビアがNGOとの協力により実施してきた支援等について振り返り、今後も支援を続ける意向であることを述べた。

#### ◆レヴィッツ大統領のウクライナ訪問

8月22日～24日、レヴィッツ大統領はキエフを訪問し、欧州各国の指導者、国会議長及び外務大臣等とともに、クリミア・プラットフォーム設立に際して行われたサミットに出席した。同大統領は、ウクライナの主権及び領土保全に対するラトビアの揺るぎない支持を改めて約束したほか、クリミア半島の軍事化は、ウクライナ、欧州及びバルト海地域全体にとって安全保障上の脅威であると指摘した。同大統領はまた、ゼレンスキー・ウクライナ大統領及びウクライナの人々に対し、独立30周年の祝辞を述べた。

8月23日、レヴィッツ大統領は、ゼレンスキー・ウクライナ大統領と会談した。レヴィッツ大統領は、翌24日にウクライナが独立30周年を迎えることに祝意を伝えたほか、EU及びNATOへの加盟に向けたウクライナの取り組みをラトビアは支持し続けると強調し、改革の実行を緩めないようウクライナに求めた。

さらに、同日、レヴィッツ大統領は、カリユライド・エストニア大統領、ナウセーダ・リトアニア大統領及びドゥダ・ポーランド大統領と会談し、ベラルーシの現状について意見交換し、会談後、4大統領の共同宣言を発表した。同共同宣言では、母国（ベラルーシ）での権利が制限されているベラルーシの人々への連帯を表明し、「我々（4大統領）は、ルカシェンコ氏及びベラルーシ当局の攻撃的かつ不安定な行動に対し、連帯して反対する。我々は、ベラルーシの人々の意思が将来のベラルーシを形作るための主たる指針であるべきと確信し続ける」等としている。

#### ◆バルト三国首相会合及び共同声明

8月6日、カリンシュ首相は、エストニア及びリトアニアの首相とテレビ会議形式で会合を行い、リトアニア・ベラルーシ国境の状況、国際的な解決策の可能性及びEUの東部対外国境における不法移民の流入阻止に向けた共同の取り組み等について意見を交わし

た。カリンシュ首相は、相互支援の必要性を指摘したほか、東部国境の警備強化を加速させるラトビアの計画について説明した。また、3首相は、共同声明を発表し、EUの対外国境の守りを傷つける手段として不法移民を利用するという、ベラルーシのルカシェンコ体制によるハイブリッド攻撃を非難した。

#### ◆ラトビア・イラク外務大臣電話会談

8月6日、リンケービッチ外務大臣は、フセイン・イラク外務大臣と電話会談し、二国間関係、EU・イラク関係及びベラルーシとの間のEU対外国境における現在の移民問題について意見を交わした。リンケービッチ大臣は、イラクの安全保障及び繁栄は中東地域の安定と深く関係し、ラトビアにとって重要であると述べたほか、ベラルーシが近隣のEU加盟国に対して不法移民を利用して圧力をかけていることに関するラトビアの見解を述べ、イラク政府に対し、イラク市民がリトアニアを通して不法に欧州に入ることを阻止するための取り組みを全力で行うよう求めた。同大臣はまた、不法移民を抑えるためにイラクが現在とっている迅速な対策に対し、謝意を述べた。

#### ◆リンケービッチ外務大臣のモルドバ訪問

8月16-18日、リンケービッチ外務大臣は、モルドバを公式訪問し、17日、グロス・モルドバ共和国議会議長、ゲルマン・モルドバ共和国議会外交政策委員会委員長、ガブリリツァ・モルドバ首相及びポペスク・モルドバ外務・欧州統合大臣と会談した。会談では、二国間関係、開発協力政策の一環としての（ラトビアから）モルドバへの支援、EU・モルドバ関係、12月に予定されている東方パートナーシップ首脳会合に向けた準備及びEU近隣諸国並びにアフガニスタンにおける安全保障状況について話し合われた。リンケービッチ外務大臣は、改革の実施に向けてモルドバ新政府が掲げた優先事項に対するラトビアの強い支持を表明したほか、EU・モルドバ関係に関し、EU加盟に近づくためのモルドバの取り組みへのラトビアの支持を改めて伝えた。

#### ◆リンケービッチ外務大臣のEU外務理事会緊急会合出席

8月17日、リンケービッチ外務大臣は、EU外務理事会の緊急会合にテレビ会議形式で出席し、アフガニスタン情勢について意見を交わした。出席した外務大臣等は、最近の動向はアフガニスタン及び地域全体の双方の安全保障状況の甚大な悪化を招いているとの点で意見が一致した。リンケービッチ大臣は、「EUは、現在の課題に対応し、アフガニスタンとの今後の協力に向けた方策や基準を見極めるため、NATO及び志を同じくするその他のパートナーとともに、統一性のある、調整のとれたアプローチを維持すべきである」と強調した。

#### ◆ムールニエツェ国会議長のリトアニア訪問

8月18日、ムールニエツェ国会議長はリトアニアを訪問し、チュミリーテ＝ニールセ

ン・リトアニア国会議長、ラタス・エストニア国会議長及びサッソーリ欧州議会議長と会談したほか、リトアニア・ベラルーシ国境を視察する等した。ムールニエツェ議長は、ラトビア・ベラルーシ国境及びリトアニア・ベラルーシ国境の状況は移民危機ではなく、EU及びNATOに対するハイブリッド攻撃であるとし、「不法移民の流入を止めるには、それらの移民の出身国と協力することが不可欠である。また、EU諸国においては、今般の不法移民の増加及びベラルーシ政権が人々を残忍に利用する真の理由について、理解を高める必要がある」等と述べた。なお議長等は、ナウセーダ・リトアニア大統領への表敬も行った。

#### ◆サッソーリ欧州議会議長のラトビア訪問

8月19日、サッソーリ欧州議会議長はラトビアを訪問し、レヴィッツ大統領、ムールニエツェ国会議長等と会談した。レヴィッツ大統領は、サッソーリ欧州議会議長をリガ城（大統領官邸）に迎え、ベラルーシとの間のEU対外国境におけるハイブリッド戦争を回避するためのEUの取り組み、「欧州の将来に関する会議」及びEUの世界的競争力について意見を交わした。同大統領は、同議長の初めてのラトビア訪問に謝意を伝えた。またムールニエツェ議長は、サッソーリ議長との会談後、「バルト諸国の東側の国境は、EU全体の対外国境でもある。我々は現在、ベラルーシ政権による、同国境へのハイブリッド攻撃に直面しており、EUが対外国境の守りの強化のためにより多くの資金を投入するという積極的なステップをとることを期待している」等と述べた。

#### ◆ムールニエツェ国会議長のエストニア訪問

8月20日、ムールニエツェ国会議長は、エストニアの独立回復30周年記念行事等に出席するため、タリンを訪問した。一連の行事には、バルト諸国、アイスランド及びポーランドの国会議長、そして欧州議会議長も出席した。ムールニエツェ議長は、「ラトビアとエストニアは、（独立を果たしてから100年を経て）次の100年も、緊密で志を同じくする友人である。我々は、共に、バルトの道及び欧州の道を進んでいかななくてはならない」、「100年前、両国は独立するために隣り合って戦い、そして30年前にはバルトの道で連帯した」等と述べた。

#### ◆リンケービッチ外務大臣のNATO臨時外務大臣会合出席

8月20日、リンケービッチ外務大臣は、アフガニスタン情勢について話し合うため、NATO臨時外務大臣会合にテレビ会議形式で出席した。同大臣は、ラトビア市民が安全に（ラトビアに）帰国できるよう支援を受けたことについて英外相に謝意を表明したほか、全ての同盟国、特に米国、英国及びトルコが救出活動及び困難な状況下にあるカブール空港の機能を確かなものとするために活動を継続していることに感謝した。リンケービッチ大臣はまた、現在の課題に対応し、安全な環境、移動及び人権の保障を続けていく上で、NATOは、EUや国連を含めた志を同じくするパートナーと共に団結したアプローチを維持しなくてはならないと指摘した。

**◆カリンシュ首相のバルト諸国・ポーランド首相会議出席**

8月21日、カリンシュ首相は、シモニーテ・リトアニア首相、カッラス・エストニア首相及びモラヴィエツキ・ポーランド首相とテレビ会議形式で会談し、ベラルーシとの間のEU 対外国境の動向及び不法移民の流入の抑止に向けた方策について意見を交わした。カリンシュ首相は、ベラルーシはラトビア国境にいる人々について責任を持たなくてはならないと指摘し、「それらの人々は、観光ビザで合法的にベラルーシを訪れており、ベラルーシには彼らに対する責任がある」と述べたほか、「各国の責務は不法移民の入国を回避することであり、ラトビアは、特にEUの対外国境を守る立場にあることを念頭に、その責任を果たし続ける所存である」と強調した。なお、4首相は、同月23日、ベラルーシによる国境でのハイブリッド攻撃に関する声明を連名で発表した。

**◆ラトビア・モルドバ首脳会談**

8月23日、レヴィッツ大統領は、訪問先のキエフにおいて、サンドウ・モルドバ大統領と会談した。レヴィッツ大統領は、ラトビアはモルドバの欧州統合を支持し、実際の改革の経験や専門知識の提供を続けていくと約束した。また同大統領は、議題の一つであったモルドバにおける法の支配及び司法制度改革の強化に関連し、司法制度改革及び汚職対策の枠組み実施に関するラトビアの経験を共有し、モルドバの専門家の研修におけるラトビアの大学の果たす役割の可能性について強調した。

**◆カリンシュ首相のエストニア訪問**

8月25日、カリンシュ首相はエストニアを訪問し、カッラス・エストニア首相とともに、「エストニア・ラトビア間第3連結送電線 (Estonia-Latvia 3rd Interconnection)」の開通式典に出席したほか、ラトビア・エストニア首相会談を行った。カリンシュ首相は式典でスピーチし、欧州の送電網との同期化プロジェクトにおける本連結送電線の重要性を強調し、バルト地域の電力供給システムの安全性と第三国からの独立性の強化につながると指摘した。また首相会談では、ベラルーシとの間のEU 対外国境の現状、アフガニスタン情勢、EU・ロシア関係、エネルギー分野の主要な地域プロジェクト及びレール・バルティカ・プロジェクトの進展等について意見を交わした。

**◆ラトビア・リトアニア外務大臣会談**

8月25日、リンケービッチ外務大臣は、アブグステ・マナー（リガの南西約75キロに所在）において、ラトビア及びリトアニア外務省の高官等による非公式セミナー（両国が交互に主催、今回は5回目）が行われた機会を捉え、ランズベルギス・リトアニア外務大臣と会談を行った。両大臣は、ベラルーシによるラトビア及びリトアニア国境でのハイブリッド攻撃に対応する上で、ラトビア・リトアニア間の協力の重要性を指摘したほか、二国間での協力及びEU並びにその他の国際パートナーとの協力の双方によって、緊密なやり取り及び調整が継続されるべきであると強調した。

### ◆ラトビアは紛争で負傷したウクライナ軍兵士や家族等へ人道支援物資を寄贈

8月27日、ラトビア国防省は、軍事衝突で負傷する等したウクライナ軍兵士、その家族及び市民のために人道支援物資23トンを寄贈した旨を発表した。支援物資には、ラトビアの市民や企業から寄付された衣料、家具、家庭用品、ラトビアの農場で焼いたパン等が含まれる。同月23日からウクライナ東部を訪問中のブリョドニエツェ国防省政務官は、負傷したウクライナ軍兵士及び家族の支援団体と面会したほか、ウクライナ独立記念日パレードに出席し、タラン・ウクライナ国防大臣への表敬も行った。

## — その他 —

### 【今月の注目記事】

#### ◆ラトビア選手が東京2020パラリンピック競技大会で5個のメダルを獲得

8月24日～9月5日の間、パラリンピック「東京2020大会」が開催され、ラトビアから7名の選手が陸上競技、馬術、水泳、アーチェリーの競技に出場した。24日に行われた開会式では、アーチェリーのイエバ・メツレ選手及び陸上競技のアイガルス・アピニス選手がラトビアの旗手を務めた。ラトビアにおけるパラリンピック・ムーブメントのパトロンを務めるレヴィテ大統領夫人は、8月26日から29日まで日本を訪問し、競技を観戦し、中曽根弘文対ラトビア友好議員連盟会長（元外務大臣）と会談したほか、ラトビアのホストタウンである静岡県富士市を訪問し、小長井市長と会談した。

陸上競技では、ディアナ・ダズィーテ選手がF55クラスの女子円盤投で自己最高となる25.02メートルを記録し、銀メダルを獲得した。ダズィーテ選手はF56クラスの女子やり投でも24.22メートルを記録し、銅メダルを獲得した。アイガルス・アピニス選手はF52クラスの男子円盤投で19.54メートルを記録し、銅メダルを獲得した。さらに、リハルツ・スニクス選手が馬術のグレードIの個人競技及びフリースタイルでそれぞれ銀メダルを獲得した。9月10日、大統領公邸（リガ城）にて選手団の歓迎祝賀会が開催され、川口大使も招待され祝辞を述べた。3人のメダリストには、レヴィッツ大統領から大統領特別メダルが授与された。

#### ◆作曲家ライモンズ・パウルス氏への旭日中綬章の伝達式

8月16日、日本大使公邸において、作曲家・ピアニストで元文化大臣（在任：1988年～1993年）のライモンズ・パウルス氏への令和2年秋の外国人叙勲伝達式が執り行われた。同氏は、日本・ラトビア間の文化交流及びラトビアにおける対日理解促進への貢献により、旭日中綬章を受章した。伝達式において、同氏は、天皇陛下、日本政府及び日本国民に謝意を表明し、世界は日本から多くの事を学ぶことができると述べた。伝達式では、ムールニエツェ国会議長、ベイトネレ＝レ・ガラ国会副議長、リービニャ＝エグネレ国会副議長、ベルグマニス対日友好議連会長、テイクマニス大統領府長官、カルニニャ＝ルカシェヴィツァ外務省政務官及びヤンソンス文化省政務官が出席し

祝辞が述べられた。また、歌手の加藤登紀子氏及び小田陽子氏、フルート奏者の安藤史子氏、松岡市郎・北海道東川町長、グラドキンス・元ルーイエナ町長からもお祝いのメッセージが届けられた。

#### ◆9月1日より全ての教育機関において対面授業開始

8月17日、政府は9月1日より高等教育機関を含む全ての教育機関において対面授業を開始することを決定した。

これに先立ち、8月10日、政府は、9月1日より学校に登校する児童に対し、新型コロナウイルスの陰性証明の提示を義務付けることを決定した。最初の検査は8月23日から30日の間に実施しなければならない。但し、新型コロナウイルスのワクチン接種を完了した児童又は罹患後回復した児童は、この検査を免除される。児童は登校する際、デジタルCOVID証明書を紙媒体又は電子媒体にて提示しなければならない。

#### ◆ラトビア占領博物館における「香港の道」展示会の中止

8月23日から31日まで、ラトビア占領博物館において、1989年にバルト三国の住民が手に手を取って600キロにわたり人間の鎖を作った「バルトの道」と、これより30年後の2019年に香港で民主化運動参加者らが行った「香港の道」の二つの出来事を並べて紹介する展示会が行われる予定であったが、20日、同展示会の中止が明らかとなった。

ラトビア占領博物館によると、展示物の到着の遅延や、送付された展示物等が事前協議した際の量及び内容と一致せず、ラトビアの歴史に関する間違った情報も含まれていたこと等から、同博物館は主催者との協力を中止したとのことである。

なお、同展示会は、リトアニア及びエストニアでは予定どおり開催された。

## 2021年8月の主な出来事

	【内政】	【外交】
8月	<p>9日、ベラルーシ大統領選から1年に際しての外務省声明発表</p> <p>10日、ベラルーシ国境近辺に非常事態宣言発出</p>	<p>6日、バルト三国首相会合(テレビ会議)</p> <p>6日、ラトビア・イラク外務大臣電話会談</p> <p>16日～18日、リンケービッチ外務大臣、モルドバを訪問</p> <p>17日、リンケービッチ外務大臣、EU外務理事会緊急会合出席(テレビ会議)</p> <p>18日、ムールニエツェ国会議長、リトアニアを訪問。リトアニア国会議長、ラタス・エストニア国会議長及びサツソーリ欧州議会議長と会談</p> <p>19日、サツソーリ欧州議会議長、ラトビアを訪問。レヴィッツ大統領、ムールニエツェ国会議長等と会談</p> <p>20日、ムールニエツェ国会議長、エストニアを訪問</p> <p>20日、リンケービッチ外務大臣、NATO臨時外務大臣会合出席(テレビ会議)</p> <p>21日、カリンシュ首相、バルト諸国・ポーランド首相会議出席(テレビ会議)</p> <p>22日～24日、レヴィッツ大統領、ウクライナを訪問。クリミア・プラットフォーム設立サミット出席。ゼレンスキー・ウクライナ大統領及びサンドゥ・モルドバ大統領とそれぞれ会談。バルト三国・ポーランド大統領会談に出席。</p> <p>25日、カリンシュ首相、エストニアを訪問。ラトビア・エストニア首相会談及び「エストニア・ラトビア間第3連結送電線」開通式典に出席。</p> <p>25日、ラトビア・リトアニア外務大臣会談出席</p>

## ラトビア主要経済指標

### GDP

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
名目GDP(※1)	百万ユーロ	24,561	25,360	26,962	29,143	30,421	29,334	30,916	31,652	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP	ユーロ	12,421	12,943	13,890	15,129	15,901	15,431	-	-	公式統計ポータル
国民一人当たりGDP/EU平均	%	65	66	67	69	69	72	-	-	EU統計局
実質個人消費/EU平均	%	66	67	68	69	70	-	-	-	EU統計局
GDP実質成長率(※2)	%	4.0	2.4	3.3	4.0	2.0	-3.6	▲ 6.1	18.8	公式統計ポータル
GDP実質成長率(※3)	%	-	-	-	-	-	-	▲ 1.3	11.1	公式統計ポータル

(※1) 四半期は季節調整値の年率、(※2) 四半期は前期比年率、(※3) 前年同期比(原数値)

### 財政収支, 政府債務残高

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
財政収支	百万ユーロ	▲ 350	39	▲ 211	▲ 234	▲ 172	▲ 1,327	▲ 515	-	公式統計ポータル
財政収支対名目GDP比	%	▲ 1.4	0.2	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 0.6	▲ 4.5	-	-	公式統計ポータル
政府債務残高	百万ユーロ	9,105	10,245	10,519	10,816	11,247	12,750	13,430	-	公式統計ポータル
政府債務対名目GDP比	%	37.1	40.4	39.0	37.1	37.0	43.5	-	-	公式統計ポータル

### 失業率, 消費者物価上昇率, 月額平均賃金

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
失業率	%	9.9	9.6	8.7	7.4	6.3	8.1	8.1	7.9	公式統計ポータル
消費者物価上昇率(※)	%	0.2	0.1	2.9	2.5	2.8	0.2	▲ 0.1	2.3	公式統計ポータル
平均賃金(グロス)	ユーロ	818	859	926	1,004	1,076	1,143	1,206	1,237	公式統計ポータル
平均賃金(ネット)	ユーロ	603	631	676	742	793	841	891	914	公式統計ポータル
最低賃金(月額, グロス)	ユーロ	360	370	380	430	430	430	500	500	公式統計ポータル
世帯一人あたり可処分所得	ユーロ	417	437	489	546	583	-	-	-	公式統計ポータル

(※) 四半期は前年同期比

### 対内直接投資(FDI)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	13,532	13,591	14,691	15,261	15,925	16,671	16,697	-	中央銀行

### 貿易統計

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	10,505	10,490	11,647	12,773	12,966	13,305	3,553	3,797	公式統計ポータル
輸入(CIF)	百万ユーロ	12,710	12,417	14,177	15,793	15,914	15,159	3,899	4,750	公式統計ポータル
貿易収支	百万ユーロ	▲ 2,205	▲ 1,927	▲ 2,530	▲ 3,020	▲ 2,948	▲ 1,854	▲ 346	▲ 953	公式統計ポータル

### 日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
日本への輸出	千ユーロ	39,592	48,524	50,526	53,343	56,637	50,099	12,827	12,716	公式統計ポータル
日本からの輸入	千ユーロ	20,405	18,974	22,282	25,668	27,999	21,739	5,987	5,185	公式統計ポータル
対日貿易収支	千ユーロ	19,187	29,550	28,244	27,675	28,638	28,360	6,840	7,531	公式統計ポータル

### 日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
ラトビアへの輸出	百万円	6,386	5,523	7,573	7,325	5,794	4,459	1,091	1,699	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	7,217	9,291	8,017	8,847	8,868	8,639	2,061	2,185	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	▲ 831	▲ 3,768	▲ 444	▲ 1,522	▲ 3,074	▲ 4,180	▲ 970	▲ 486	財務省統計

### 両国間の訪問者数

	単位	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 Q1	2021 Q2	出典
ラトビア→日本	人	1,803	2,484	2,487	2,551	2,701	393	1	-	日本政府観光局
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	21,575	23,191	24,576	29,534	20,416	2,358	34	51	公式統計ポータル

(注) ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した。2021年8月末現在、1ユーロ=130円程度。  
(2021年9月1日まで公表分のデータ)